

2024年度 夏期海外短期研修募集要項

1. 募集プログラム

研修名	定員	研修先	研修期間
アメリカ英語研修	12名	ジョージア工科大学	2024年8月19日(月)～9月14日(土)
イギリス英語研修	8名	ロンドン大学アジア・アフリカ学院(SOAS)	2024年8月19日(月)～9月6日(金)
インドネシア英語研修	10名	ビナス大学	2024年8月10日(土)～22日(木)
カナダ英語研修	20名	ウォータールー大学レニンカレッジ付属語学学校	2024年8月26日(月)～9月20日(金)
フランス語研修(フランス)	10名	リヨン・カトリック大学	2024年9月2日(月)～27日(金)
中国語研修(台湾)	10名	国立台湾師範大学	2024年8月12日(月)～30日(金)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での研修実施が難しい場合、オンラインプログラムに切り替えを行うことがある。

※最少催行人数に満たない場合、研修は航空券の条件を変更して実施、または中止とする。

※上記の記載は研修予定期間となり、日程は変更されることがある。渡航日／帰国日は原則として研修開始前日または前々日／研修終了翌日となり、航空券予約状況によって追って確定される。

2. 応募説明会

研修の概要及び応募手続き等について説明をする。

日程	時間	会場
4月17日(水)	12:10～ 12:50	対面：国際交流会館1階 大会議室 オンライン： https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_OTdmNTVkyMUtZTdINi00OTUyLWlzYmItNTA1MTM2MWMxMTQy%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%22f2f4969a-9b8f-4d92-939c-455bf916096d%22%2c%22Oid%22%3a%22223a9d9e-9439-4886-9d26-4c03172a437f%22%7d

※後日kibacoの「海外留学協定校情報」に説明会の録画をアップ予定。

3. 本研修における経済支援 ※給付型(返済の義務無し)

(1) 支援内容

本研修における経済支援は、以下のとおり実施する。

研修名	経済支援金額	
	現地実施の場合	オンラインに変更となった場合
アメリカ英語研修	70,000円(150,000円*)	授業料(滞在費その他を除いたもの)の50%相当を支給する。 (ただし、現地実施の場合の支援金額を上限とする。) ※外貨から日本円への計算は、本学の規定と換算レートに基づき実施する。
イギリス英語研修	90,000円	
インドネシア英語研修	50,000円	
カナダ英語研修	70,000円(150,000円*)	
フランス語研修(フランス)	70,000円	
中国語研修(台湾)	50,000円	

*アメリカ英語研修、カナダ英語研修に応募する学生のうち、以下の応募条件を全て満たす者は、本学の経済支援に加えて、日本学生支援機構(以下、JASSO)からの追加支援(80,000円)が受給可能な**経済支援追加枠**に応募することができる(上限は2研修合わせて20名)。

[**経済支援追加枠**の応募条件]

- ・アメリカ英語研修又はカナダ英語研修を志望している。
- ・以下の成績要件を満たしている。
学部1年生：高等学校等における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上
学部2～4年生、大学院生：成績評価係数計算シート【様式6】にて計算した成績評価係数が2.3以上
- ・日本国籍を有している。もしくは、日本への永住が許可されている。

(2) 支援受給のための条件

参加学生は、以下の全てを履行した後に、海外短期研修経済支援金を受給することができる。

- ① 経済支援金受給に必要な振込口座の登録(本人名義口座)
- ② 全ての説明会やオリエンテーション等への出席
- ③ やむを得ない事情がある場合を除く、研修先の授業及び課外活動(オプションは除く)への毎回の出席
- ④ 帰国後に実施するフィードバックミーティングへの出席
- ⑤ 海外短期研修報告書及びアンケートの提出
- ⑥ 研修開始前・後の英語能力測定試験の受験(英語研修参加者のみ)

[注意事項]

正規授業への出席の場合を除き、オリエンテーションの欠席は原則として認めない。また、無届の遅刻や欠席、課題の提出遅れ等が確認できた場合は、経済支援金の支給に影響を及ぼすため、注意すること。

4. 応募にかかる手続き

(1) 応募資格

- ① 本学学部又は大学院の正規課程に在学する学生(休学者を除く)であること。
- ② 2024年度後期に、本学に在籍予定であること。
- ③ 語学力を高めるといった目的意識を持ち、積極的にプログラムに参加する意志があること。
- ④ 危機管理及び感染症対策を怠らず参加する意志があること。なお、渡航の1か月前の時点において渡航先の感染症危険レベルが2以上となった場合には、速やかに誓約書【様式5】記載の全項目について熟読、確認し、本人及び保証人が同意、署名の上、提出ができること。

(2) 応募受付期間(事前エントリーと応募書類受付)

4月17日(水)～5月8日(水)12:00(厳守)

(3) 参加学生の発表

5月10日(金)12:00

kibacoのお知らせ欄及び国際課前(南大沢キャンパス国際交流会館1F)掲示板での掲示にて発表する。
派遣学生として決定後、「海外短期研修派遣学生用ページ」のkibacoに登録を行う。

(4) 事前エントリー方法と応募書類

応募には、①事前エントリーと②応募書類の提出が必要となる。①と②の両方が確認でき次第、応募が完了したものとみなす。

① 事前エントリー

応募志願者は、下記のWebシステムにアクセスし、必要事項を入力して送信すること。

URL: <https://forms.office.com/r/8B3HNbMQKR>

QRコード: 

② 応募書類の提出

事前エントリー終了後に、下記の応募書類を提出すること。応募書類の各様式を含む募集要項は、kibaco「海外留学協定校情報」及び国際センター・国際課ホームページの「研修先一覧」のページからダウンロードすることができる。

URL: https://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/list_for_training.html

応募書類	注意事項
1. 申込書【様式1】	カラー写真(4x3cm)を貼付すること。
2. 同意書【様式2】	保証人は、入学時に申請した人物と同じ人物とすること。
3. 受験票【様式3】	受験番号以外の箇所を記入し、提出すること。
4. 学生証(コピー)	表面のみ
5. パスポート(コピー)	パスポート未取得、または有効期限が2024年12月以前(インドネシア英語研修希望者は2025年2月以前)の場合は、 申込書下部の枠内に、「未取得」と記入すること。 また、派遣学生に決定次第、 パスポートの発給または更新 をすること。 ※パスポートの発給には時間がかかるため、注意すること！ (新規発給申請時の必要書類の一つである戸籍謄本又は抄本(原本)は、本籍地のある市区町村の役所にて発行可能)。
6. 健康状況申告書【様式4】	各項目の記入及び項目へのチェックをして提出のこと。渡航にあたり健康上不安がある場合等には事前に医師に相談、確認のうえ応募すること。 (万一、提出された健康状況申告書に重大な不安要素等がある際には決定取消となる場合もあり、その時点で払込済の旅費その他に発生する旅行代金のキャンセル料等は学生の自己負担となる)。

※誓約書【様式5】は、応募時の提出は不要。提出が必要となった場合に備え、内容を確認しておくこと。

アメリカ英語研修またはカナダ英語研修を志望する学生のうち、**経済支援追加枠**(詳細は、3. 本研修における経済支援の(1)支援内容を参照。)への応募を希望する者は、応募書類に加えて以下の書類を提出すること。

○学部1年生

提出書類	注意事項
1. 成績証明書等	高等学校等における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であることが証明できる書類を提出すること。

○学部2～4年生、大学院生

提出書類	注意事項
1. 成績評価係数計算シート【様式6】	エクセルファイルに記載された手順に沿って、前年度の成績を基に必要事項を記入すること。 本様式にて計算された成績評価係数が2.3未満である場合は、経済支援追加枠への応募はできない。
2. 成績通知書	前年度の成績のみを抽出した成績通知書を提出すること。

(5) 応募書類提出先及び受付時間

- ①国際課窓口(南大沢キャンパス国際交流会館1F)への提出
受付時間: 月～金 9:00 - 17:00(12:30 - 13:30を除く)
※日野・荒川キャンパス所属の学生は、**5月7日(火)12:00まで**、各々のキャンパスの学務課教務係窓口で提出可能。

②郵送での提出

5月8日(水)12:00までに**郵送必着**。
宛先: 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学国際課留学生交流係

(6) 応募書類作成及び提出にかかる注意

- ①希望する研修が複数ある場合は、申込書の「応募研修」の欄に、希望する順位を記入すること。
②全ての提出書類は、黒色のボールペン又は耐水性ペンで、手書きで記入すること。消せるボールペンは不可。原本で提出が必要な書類について訂正がある場合、訂正箇所に二重線の上、訂正印を押印すること。
③募集要項は、国際センター・国際課ホームページの、「研修先一覧」のページからダウンロードができる。
URL: https://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/list_for_training.html
④全ての提出書類は、コピー1部を控えとして各自保管しておくこと。

(7) 受験番号の通知

国際課窓口にて応募書類を提出した学生は、受付時、受験票【様式3】に受験番号を記載する。
日野・荒川キャンパス学務課教務係窓口にて応募書類を提出した学生には、後日eメールにて受験番号を通知する。万一、受験番号通知が届かない場合は、<shortdoc@mj.tmu.ac.jp>まで問い合わせること。

(8) 参加学生の決定

応募者数が各研修の募集定員を超えた場合は、以下の方法で参加学生を決定する。

① アメリカ英語研修、カナダ英語研修

以下の手順に従って、学生を決定する。

(ア) アメリカ英語研修及びカナダ英語研修を第1希望としている応募者から、以下の条件を満たす学生を抽出する。

- ・経済支援追加枠への応募条件(3. 本研修における経済支援(1)支援内容を参照。)を満たしている。
- ・過去に実施した海外短期研修に参加したことがない。

(イ) 手順(ア)にて抽出した学生を、提出された成績評価の高い者から順に、20名を参加学生及び**経済支援追加枠対象者**として決定し、第1希望の研修へ振り分ける。振り分けの途中で、参加学生の数がどちらかの研修の定員に達した場合は、その研修を第1希望としている学生を除いて振り分けを続ける。

(ウ) 残りの参加学生枠を、研修ごとに、以下の条件を満たす学生の中で抽選する。

- ・その研修を第1希望としている。
- ・JASSOからの追加支援が受けられない場合でも、参加を希望している。
- ・国費外国人留学生、東京都市外交人材育成基金及び東京グローバルパートナー奨学金プログラムにて受入中の外国人留学生ではない。
- ・過去に実施した海外短期研修に参加したことがない。

(エ) 残りの参加学生枠を、研修ごとに、以下の条件を満たす学生の中で再度抽選する。

- ・その研修を第2希望としている。
- ・国費外国人留学生、東京都市外交人材育成基金及び東京グローバルパートナー奨学金プログラムにて受入中の外国人留学生ではない。
- ・過去に実施した海外短期研修に参加したことがない。
- ・JASSOからの追加支援が受けられない場合でも、参加を希望している。

ただし、手順(イ)にて経済支援追加枠に振り分けられた人数が20名を下回る場合は本条件を除き、本手順にて経済支援追加枠の応募条件を満たしている学生が参加学生として決定した場合には、**経済支援追加枠対象者**が20名に達するまで、**経済支援追加枠対象者**として決定する。

(オ) さらに参加学生枠が残る場合は、第3希望以降の学生を、手順(エ)に倣って抽選する。

(カ) さらに参加学生枠が残る場合は、以下の要件に該当する学生について、第1希望から順に抽選を行う。

- ・国費外国人留学生、東京都市外交人材育成基金及び東京グローバルパートナー奨学金プログラムにて受入中の外国人留学生である。
- ・過去に実施した海外短期研修に参加したことがある。
- ・JASSOからの追加支援が受けられない場合でも、参加を希望している。

ただし、手順(オ)までの間に、経済支援追加枠に振り分けられた人数が20名を下回る場合は本条件を除き、本手順にて経済支援追加枠の応募条件を満たしている学生が参加学生として決定した場合には、**経済支援追加枠対象者**が20名に達するまで、**経済支援追加枠対象者**として決定する。

※各手順において、参加者が全て決定した研修については、以降の手順は実施しない。

② その他の研修

研修ごとに、第1希望の学生から順に抽選を行い、参加学生を決定する。

(9) 単位認定

フランス語研修、中国語研修については、人文社会学部専門教育科目2単位(他学部の学生も取得可)を、英語研修については、全学共通科目2単位を取得することができる。単位認定の詳細については合格後の研修別オリエンテーションにて案内がある。

(10) 参加学生決定後の予定

日程	時間	内容	会場
5月15日(水)	12:05~12:55	合格者オリエンテーション (研修概要と申込手続きについて)	オンライン (リンクは派遣者用kibacolにて案内)
5月15日(水)~ 異文化理解講 座まで	各自	研修前BEVI(効果測定)の受験	各自実施
5月22日(水)	12:10~12:50	異文化研修(仏文)ガイダンス ※フランス語研修参加者のみ	5号館504仏文演習室
5月22日(水)	18:00~19:30	短期研修事前授業① (Diversity & Inclusion) ※英語研修参加者のみ	1号館209室
5月23日(木)	18:00~19:30	中国語教室オリエンテーション ※中国語研修参加者のみ	5号館314演習室
5月下旬	12:10~12:50	異文化理解講座	オンライン (リンクは派遣者用kibacolにて案内)
6月上旬	各自	研修前英語能力測定試験 ※英語研修参加者のみ	各自実施
6月20日(木)	18:00~19:30	短期研修事前授業② (インタビュー調査の準備) ※英語研修参加者のみ	1号館209室
6月26日(水)	12:10~12:50	異文化研修(仏文)個別検討会 ※フランス語研修参加者のみ	5号館504仏文演習室
6月27日(木)	18:00~19:30	中国語教室 事前研修 ※中国語研修参加者のみ	5号館314演習室
7月中旬~ 下旬	12:05~12:55	外務省特別講演会	オンライン (リンクは派遣者用kibacolにて案内)
7月26日(金)	18:00~19:00	出発前オリエンテーション (渡航関連諸注意等について)	国際交流会館大会議室
9月海外短期研修			
帰国後~ フィードバックミ ーティングまで	各自	研修後BEVI(効果測定)の受験	各自実施
9月30日(月)	14:00~16:00	フィードバックミーティング	国際交流会館 大会議室 (英語研修参加者) 国際交流会館 小会議室 (フランス語・中国語研修参加者)
10月4日(金)	各自	報告書とアンケートの提出締切	kibacolの課題にアップロード
10月上旬	各自	研修後英語能力測定試験 ※英語研修参加者のみ	各自実施
11月末	—	経済支援金の支給	—

(11) 応募にあたっての注意

- ① 研修費用は、参加学生数の増減、為替レートの変動等により変更される場合がある。
- ② 応募者は、保証人の同意を得たうえで同意書を提出すること。申込時に未成年の場合、保証人は保護者とする。
- ③ 応募資格について確認が必要な場合は、事前に海外留学相談室または国際課に相談すること。
- ④ 海外短期研修に応募を希望する者で、障がいや有する等、研修参加にあたり特別な配慮を希望する者は、応募前になるべく早く国際課(南大沢キャンパス)に相談すること。応募後の申し出については、原則対応ができない上、応募後の辞退も認められないため、注意すること。
- ⑤ 参加学生に決定した後は、原則として辞退することはできない。現地派遣研修が新型コロナウイルス感染症等の理由により実施できず、オンラインプログラムに切り替わった場合も同様とする。

- ⑥現地派遣プログラムについては新型コロナウイルス感染症の影響等により、事前または研修中であっても中止（途中帰国）を決定する場合があります、時期により既に支払が発生している費用については払い戻しができない場合があります。これらの事態が生じる可能性があることを理解した上で応募し、万一の際は大学の決定及び指示に従うこと。
- ⑦現地派遣プログラム参加者については、病気・事故・事件等の万一の場合に備え、派遣全期間（自宅出発日から帰国日まで）について、本学の指定する保険会社及び補償内容の「海外旅行保険」と、本学の指定する「海外危機管理システム」に加入すること。この加入費用（15,000円程度）は自己負担となる。また、海外旅行保険が研修先の指定する補償要件を満たさない場合、研修先が指定する保険への加入も必須となる。
- ⑧本研修は長期休業中の日程となるため、次学期の授業開始日及びガイダンス等の日程を確認しておくこと。新型コロナウイルスの水際対策による隔離等が発生する可能性を考慮し、授業等を欠席せざるを得ない場合があることを理解すること。
- ⑨参加学生は、全てのオリエンテーション（研修前）フィードバックミーティング（研修後）に出席すること。
- ⑩応募者多数の場合、以下に該当しない学生が優先される。
- ・国費外国人留学生
 - ・東京都市外交人材育成基金及び東京グローバルパートナー奨学金プログラムにて受入中の外国人留学生
 - ・過去に実施した海外短期研修（春期・夏期）に参加した学生

【お問合せ先】

国際課（南大沢キャンパス）短期研修担当
月～金 9:00 - 17:00（12:30 - 13:30を除く）

Email: shortdoc@jmi.tmu.ac.jp

アメリカ英語研修

研修実施機関	<p>ジョージア工科大学 付属語学学校：アトランタ Georgia Tech's Language Institute (https://esl.gatech.edu/find-your-program/intensive-english-program)</p>
研修の目的	本研修は、主に大学で使用する英語力の向上に加え、派遣先でのホームステイ等を通し、ダイバーシティとインクルージョンについて学ぶ短期留学プログラムである。
研修の概要	ジョージア工科大学に付随する Language Institute にて、Intensive English Program を受講する。アカデミックなリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのスキルを向上させることを目的としたプログラムであり、学生の語学レベルによってクラス分けが実施されるため、個人の語学スキルに適した授業を受けることができる。 1日の授業時間は 65 分 x4 ユニット＝約 4 時間であり、研修を通して約 80 時間の授業を受ける。
期待する研修の効果	アカデミックな語学スキルや、その他中・長期の留学に必要なスキルの習得。 現地の方々との交流を通じたダイバーシティとインクルージョンに関する理解の向上。
研修期間	2024 年 8 月 19 日（月）～9 月 14 日（土） 現地時間 9:00～15:20 このうち土日・現地の祝日を除く ※8 月 18 日日本出発、9 月 15 日現地出発予定 <u>参加人数の変動により、出発日や渡航経路等が変更となる可能性あり</u>
宿泊施設	ホームステイ
参加費用	約955,000円（3月12日時点のレート1USD = 148円で計算。） <u>為替・参加人数及び燃油サーチャージ等の変動によって参加費用等が変更となる可能性あり</u> <内訳> 【研修費用】約1,600USD（約24万円） 【研修費用以外】 宿泊費：（18歳以下の場合）約2,310USD（約35万円） ホームステイ、毎日 3 食付き、毎日の研修先への送迎付き、空港送迎付き、個室 （19歳以上の場合）約2,350USD（約35万円） ホームステイ、平日：朝食・夕食&休日：3 食付き、毎日の研修先への送迎付き、空港送迎付き ※バス・トイレは共用の可能性あり。 渡航費用：航空券代約350,000円* 海外旅行保険及び危機管理サービス（J-TAS）費：約15,000円（渡航期間） *参加者が10人以上の場合。10人未満の場合、8月18日 DL296便と9月15日 DL295便を個人で手配することとなる。（国際課から案内があるまで手配はしないこと！）
申込・支払期日 支払方法等	○研修費用 申込・支払期限：2024年7月5日(金)（150USD 申込費用も併せて支払うこととなる） 支払方法：VISA、Master その他の費用については、現地到着後の支払いとなる。 ○宿泊費&渡航費用 支払期限：2024年5月31日(金) 支払方法：宿泊費…VISA、Master、JCB 渡航費用…銀行振込（人数によって、変更の可能性あり） ○海外旅行保険・危機管理サービス費：2024年5月下旬～6月上旬（申込から2週間程度） 支払方法：VISA、Master、JCB

イギリス英語研修

研修実施機関	<p>ロンドン大学アジア・アフリカ学院(SOAS)IFCELS：ロンドン</p> <p>School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London International Foundation Courses & English Language Studies (IFCELS)</p> <p>(https://www.soas.ac.uk/international-summer-programme-english-language)</p>
研修の目的	本研修は、英語によるアカデミックスキル能力を高め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<p>English Language Skills もしくは Academic Subject Course から、1 つのコースを選び受講する。</p> <p>English Language Skills は、アカデミックなリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングスキルを向上させるための英語の集中トレーニングコースである。Academic Subject Course は、「Introduction to the Media」もしくは「International Relations」の 2 つの専門科目のうちどちらかを選択し、英語で専門科目を受講できるコースである。大学で使用するアカデミックな英語に重点を置いているため、English Language SkillsはIELTS 4.5 (TOEFL IBT 60)、Academic Subject CourseはIELTS 5.5 (TOEFL IBT 76)を満たしていることが望ましい（必須ではない）。より高い英語レベルを求める学生、興味のある専門科目を英語で学びたい学生に適している。</p>
期待する研修の効果	アカデミック英語について、特定の分野におけるスキルアップを図り、英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。
研修期間	<p>2024年8月19日(月)～9月6日(金) 現地時間 10:00～15:00</p> <p>このうち土日・現地の祝日を除く</p> <p>※8月18日日本出発、9月7日現地出発予定</p> <p><u>参加人数の変動により、出発日や渡航経路等が変更となる可能性あり</u></p>
宿泊施設	学生寮（キャンパス外、詳細は語学センターホームページで確認可能）
参加費用	<p>約955,000円（3月12日時点のレート1EUR = 162円で計算。）</p> <p><u>為替・参加人数及び燃油サーチャージ等の変動によって参加費用等が変更となる可能性あり</u></p> <p><内訳></p> <p>【研修費用】約1,980EUR（約33万円）</p> <p>【研修費用以外】</p> <p>宿泊費：約1,050EUR（約18万円）</p> <p>食事なし*、個室、キッチンとリビングは4～6人で共用（本学学生以外との共用となる可能性あり）。</p> <p>渡航費用：航空券代約430,000円**（空港から大学までの送迎費用を含む）</p> <p>海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費：約15,000円（渡航期間）</p> <p>*プログラム中の食事は全て自己負担。</p> <p>**参加者が6人以上の場合。6人未満の場合、8月18日JL043便と9月7日JL044便を個人で手配することとなる。（国際課から案内があるまで手配はしないこと！）</p>
申込・支払期日 支払方法等	<p>○研修費用・宿泊費</p> <p>申込・支払期限：2024年7月5日(金)</p> <p>支払方法：VISA、Master</p> <p>○渡航費用</p> <p>支払期限：2024年5月31日(金)</p> <p>支払方法：銀行振込（人数によって、変更の可能性あり）</p> <p>○海外旅行保険・危機管理サービス費：2024年5月下旬～6月上旬（申込から2週間程度）</p> <p>支払方法：VISA、Master、JCB</p>

インドネシア英語研修

研修実施機関	<p>ビナス大学：ジャカルタ BINUS University (https://io.binus.ac.id/international-student-non-degree/short-programs-for-international-student/)</p>
研修の目的	本研修は、英語によるディスカッションやフィールドワーク、グループワークを通して、国際交流の輪を広げながら、英語でのディスカッション能力、プレゼンテーション能力及び異文化理解力を高めることを目的としている。
研修の概要	<p>ビナス大学の学生を含む 20~30 名の参加者と共に、英語によるディスカッションやフィールドワーク、グループワークを行い、実践的な英語力及び異文化理解力を身に付けるプログラムである。</p> <p>英語を学ぶのではなく、英語でインドネシアの文化や課題を学び、考え、発表するプログラムのため、ディスカッションができる程度の英語力 (IELTS5.0 以上等) を持っていることが望ましい (必須ではない)。</p> <p>英語を使う機会を求めている学生や海外の学生との交流機会を求めている学生に適している。</p>
期待する研修の効果	<p>英語でのディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション能力の習得。</p> <p>異なる文化を持つ学生に対する理解や、海外の学生との交流におけるスキルの向上。</p>
研修期間	<p>2024年8月10日(土) ~ 8月22日(木) 現地時間 9:15~13:00 このうち8月18日(日)を除く ※8月9日日本出発、8月23日現地出発予定 <u>参加人数の変動等により、出発日や渡航経路等が変更となる可能性あり</u></p>
宿泊施設	ホームステイ、学生寮
参加費用	<p>約505,000円 (3月12日時点のレート1USD = 148円で計算。)</p> <p><u>為替・参加人数及び燃油サーチャージ等の変動によって参加費用等が変更となる可能性あり</u></p> <p><内訳></p> <p>【研修費用】約850USD (約13万円) *</p> <p>*参加者が10人を超える場合。超えない場合、参加人数に応じて金額が変更となる可能性がある。</p> <p>【研修費用以外】</p> <p><u>宿泊費</u>：研修費用に含まれる。</p> <p>学生寮*、朝食付き**、シェアルーム、バス・トイレは共用。</p> <p><u>渡航費用</u>：航空券代約360,000円*** (空港から大学までの送迎費用を含む)</p> <p><u>海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費</u>：約15,000円 (渡航期間)</p> <p>*寮が満室の場合は、大学近辺の宿泊施設での滞在となる。</p> <p>**その他プログラム中の食事は全て自己負担。一部プログラム中に昼食を含む場合がある。</p> <p>***参加者が6人以上の場合。6人未満の場合、8月9日 NH871便と8月23日NH872便を個人で手配することとなる。(国際課から案内があるまで手配はしないこと！)</p> <p><u>募集後にスケジュールが1~2日前後する可能性がある。</u></p> <p><u>以上のスケジュールの前後に伴い、申込・支払期日が急に前倒しになる可能性があることを理解して申し込むこと。</u></p>
申込・支払期日 支払方法等	<p>○研修費用・宿泊費 申込期限：2024年5月31日(金) 支払期限：2024年6月28日(金) 支払方法：海外送金</p> <p>○渡航費用 支払期限：2024年5月31日(金) 支払方法：銀行振込 (人数によって、変更の可能性あり)</p> <p>○海外旅行保険・危機管理サービス費：2024年5月下旬~6月上旬 (申込から2週間程度) 支払方法：VISA、Master、JCB</p>

カナダ英語研修

研修実施機関	<p>ウォータールー大学レニソンカレッジ付属語学学校：オンタリオ州ウォータールー Renison University College University of Waterloo English Language Institute(ELI) (https://uwaterloo.ca/english-language-institute/programs/general-english)</p>
研修の目的	<p>本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。カナダの歴史や文化を学ぶことにも重点を置いている。</p>
研修の概要	<p>General English at Renison (GEAR)は、レニソンカレッジが提供する4週間（計約100時間）の英語プログラムである。プログラムの目標は、学生の語学力の向上、英語での文章力・会話力の向上、ウォータールーおよびカナダの文化に関する知識の向上を図ることである。コンテンツは、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング、文法、インペーション強化、文化研究などで、どのような状況でも自信を持ってコミュニケーションできるスキルを身につける。授業に加え、日帰り旅行（有料、選択制）や交流イベント等を通じてカナダの文化を学ぶ機会が提供される。スケジュール等の詳細はホームページを参照。</p>
期待する研修の効果	<p>レベルにより学習目標（レベル1-5：英語学習の基礎となる4技能の向上。レベル6-9：大学入学準備講座）が設定されており、集中的な英語クラスを通し英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。また、カナダの文化・歴史等についても学ぶ。</p>
研修期間	<p>2024年8月26日（月）～9月20日（金） 現地時間 9:15～13:00 このうち土日・現地の祝日を除く ※8月25日日本出発、9月21日現地出発予定 <u>参加人数の変動により、出発日や渡航経路等が変更となる可能性あり</u></p>
宿泊施設	ホームステイ
参加費用	<p>約790,000円（2月8日時点のレート1CAD = 110円で計算。） <u>為替・参加人数及び燃油サーチャージ等の変動によって参加費用等が変更となる可能性あり</u></p> <p><内訳></p> <p>【研修費用】約1,880CAD（約21万円）</p> <p>【研修費用以外】</p> <p><u>宿泊費</u>：約1,480CAD（約17万円） ホームステイ*、3食付き、原則として個室、1か月の通学用バス定期代込み。</p> <p><u>渡航費用</u>：航空券代約350,000円** 空港から大学までの送迎費150～400CAD（約4.5万円、人数によって変動）</p> <p><u>海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費</u>：約15,000円（渡航期間）</p> <p>*空き状況により、ホームステイが手配できない場合がある。その場合は学生寮（ダブルルーム、1,725CAD）を手配。 **参加者が10人以上の場合。10人未満の場合、8月25日 AC002便と9月21日 AC001便を個人で手配することとなる。（国際課から案内があるまで手配はしないこと！）</p>
申込・支払期日 支払方法等	<p>○研修費用・宿泊費・空港から大学までの送迎費 申込期限：2024年5月31日(金) 支払期限：2024年8月12日(月) 支払方法：VISA、Master、American Express</p> <p>○航空券代 支払期限：2024年5月31日(金) 支払方法：銀行振込（人数によって、変更の可能性あり）</p> <p>○海外旅行保険・危機管理サービス費：2024年5月下旬～6月上旬（申込から2週間程度） 支払方法：VISA、Master、JCB</p>

フランス語研修（フランス）

研修実施機関	<p>リヨン・カトリック大学 附属語学学校 (ILCF) : リヨン Université Catholique de Lyon, Institut de Langue et de Culture Françaises (ILCF) (https://www.ilcf.net/en/trainings/intensive-summer-courses-july-august-and-september/)</p>
研修の目的	本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、フランス語及びフランス文化を学び、その理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<p>フランスの文化省により教育内容やサービスレベルの質が保証された良質な語学学校として“Qualité FLE”の認証を受けたリヨン・カトリック大学附属語学学校にて、CEFR A1～ B2（初学者から中上級者）向けのフランス語コースを提供する。</p> <p>時間数は80時間（週20時間）で、文化体験などのアクティビティも実施予定であり、フランスの歴史や文化について学ぶ機会も提供される。</p>
期待する研修の効果	初級から上級まで、レベルごとに学習目標が設定されており、フランス語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。
研修期間	<p>2024年9月2日（月）～9月27日（金） 現地時間 9:15～13:00 このうち土日・現地の祝日を除く ※9月1日日本出発、9月28日現地出発予定 <u>参加人数の変動により、出発日や渡航経路等が変更となる可能性あり</u></p>
宿泊施設	学生寮
参加費用	<p>約785,000円（3月12日時点のレート1EUR = 162円で計算。保証金は含まない。） <u>為替・参加人数及び燃油サーチャージ等の変動によって参加費用等が変更となる可能性あり</u></p> <p><内訳></p> <p>【研修費用】約971EUR（約16万円） 【研修費用以外】</p> <p><u>宿泊費</u>：約645EUR + 400EURの保証金*（約11万円 + 約6万5000円の保証金） 学生寮、食事なし**、原則として個室***、バス・トイレは共用の可能性あり。</p> <p><u>渡航費用</u>：航空券代約500,000円****（空港から大学までの送迎費用を含む） <u>海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費</u>：約15,000円（渡航期間）</p> <p>*保証金は、滞在中に問題がなければ、返金される。 **プログラム中の食事は全て自己負担。 ***個室に空きがない場合、シェアルームの手配となる。 ****参加者が10人以上の場合。10人未満の場合、9月1日 AF293便、AF7364便と9月28日 AF7369便、AF274便を個人で手配することとなる。（国際課から案内があるまで手配はしないこと！）</p>
申込・支払期日 支払方法等	<p>○研修費用・宿泊費 申込期限：2024年5月31日(金) 支払期限：2024年7月31日(水) 支払方法：VISA、Master</p> <p>○渡航費用 支払期限：2024年5月31日(金) 支払方法：銀行振込（人数によって、変更の可能性あり）</p> <p>○海外旅行保険・危機管理サービス費：2024年5月下旬～6月上旬（申込から2週間程度） 支払方法：VISA、Master、JCB</p>

中国語研修（台湾）

研修実施機関	国立台湾師範大学 語学センター ：台北 Mandarin Training Center NTNU http://service2.mtc.ntnu.edu.tw/culture/ntnumtc3week/japan/summer0.php
研修の目的	本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、中国語および中華文化を学びその理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本学協定校の国立台湾師範大学付属の国語教学センターでは、クラス分けテストの結果に応じてクラス編成（初級・中級・上級）を行い、少人数クラスで3週間（週15時間）の中国語授業を受講する。 ・中国語授業に加え、文化研修およびフィールドトリップも実施し、中華文化を学ぶとともに、台湾の社会・文化・歴史・自然への知識を深める。 ・文化研修は書道・絵画・茶などの7つのトピックから3つを選ぶことができ、フィールドトリップは故宮博物院、十分（Shifen）の滝、陶博物館のある鶯歌（Yingge）など4つの行先から3つを選ぶことができる。 ・語学パートナー（パディ）との実践的な会話の時間も設けられている。
期待する研修の効果	授業では、「聞く/話す/読む/書く」の4技能をバランスよく身につけるとともに、特に日本では得難い「聞く・話す」に重点を置いた実践的な中国語学習を通し、中国語の運用能力を高める。
研修期間	2024年8月12日（月）～8月30日（金） 現地時間9:10～16:00 このうち土日・現地の祝日を除く ※8月11日日本出発、8月31日現地出発予定 <u>参加人数の変動により、出発日や渡航経路等が変更となる可能性あり</u>
宿泊施設	学生寮（詳細は寮HPで確認可能 https://www.sce.ntnu.edu.tw/home/accommodation/ ）
参加費用	約525,000円（3月12日時点のレート 1TWD =5円で計算。） <u>為替・参加人数及び燃油サーチャージ等の変動によって参加費用等が変更となる可能性あり</u> <内訳> 【研修費用】約39,000 TWD（約20万円） 【研修費用以外】 宿泊費：約22,990 TWD*（約12万円） 学生寮**、食事なし***、2名1室、バス・トイレは共用。 渡航費用：航空券代約190,000円****、空港から大学までの送迎費用を含む。 海外旅行保険および『危機管理システムJ-TAS』会費：約15,000円（渡航期間） * 2名1室の料金（45,980TWD）を折半した金額となる。 **寮が満室の場合は、大学近辺の宿泊施設での滞在となる。 ***プログラム中の食事は全て自己負担。 ****参加者が6人以上の場合。6人未満の場合、8月11日 NH851便と8月31日 NH854便を個人で手配することとなる。（国際課から案内があるまで手配はしないこと！）
申込・支払期日 支払方法等	○研修費用・宿泊費 申込期限：2024年7月5日(金) 支払期限：2024年7月12日(金) 支払方法：VISA、Master ○渡航費用 支払期限：2024年5月31日(金) 支払方法：銀行振込（人数によって、変更の可能性あり） ○海外旅行保険・危機管理サービス費：2024年5月下旬～6月上旬（申込から2週間程度） 支払方法：VISA、Master、JCB

2024年度 夏期 海外短期研修 参加申込書

写真
(4cm×3cm)

【応募受付期間】 2024年4月17日（水）～ 5月8日（水） 12:00

【受付時間】 9:00 - 17:00 (12:30 - 13:30 を除く)

【提出先】 国際課（南大沢キャンパス国際交流会館1階）

※ 日野・荒川キャンパス所属の学生は、各キャンパス学務課教務係窓口で提出することもできる

応募研修	応募を希望する研修に○を記入すること(複数の研修を希望する場合は、希望順位を記載すること)			
	()アメリカ英語研修	()イギリス英語研修	()インドネシア英語研修	
	()カナダ英語研修	()フランス語研修(フランス)	()中国語研修(台湾)	
氏名	ローマ字 氏名	(必ずパスポートと同じつづりを記入)		
所属 (○で選択)	学部 研究科	学科 専攻・学域	系 コース	年次
学修番号	生年 月日	西暦	年	月 日 (才)
現住所	〒 Email(PC): _____ TEL(自宅): _____ Email(携帯): _____ TEL(携帯): _____			
保証人住所	アガナ 氏名 ⑩ (続柄:) 〒 Email(PC): _____ TEL(自宅): _____ Email(携帯): _____ TEL(携帯): _____			
海外短期派遣 プログラム 参加歴	※過去に本学実施の海外短期派遣プログラムに参加歴がある場合は記載すること。応募者多数の場合、当該プログラムの参加歴の無い者が抽選に於いて優先される。			
語学スコア (あれば。任意)	IELTS	点	TOEFL-iBT	点
	TOEIC	点	実用英語技能検定(英検)	級
その他 語学スコア (あれば。任意)				

私及び以上の保証人は、募集要項に記載された事項及び研修内容を十分理解した上で本研修に応募します。また上記の個人情報を、研修先大学等に研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内において提供することに同意します。

申込書提出日：2024 年 月 日 申込者の署名： _____

※①事前エントリー及び②応募書類に不備がないことを申込者本人が確認の上、以下のチェックシートに丸印(○)を記載すること。

黄色ハッチング部は、経済支援追加枠への応募を希望する学生のみ提出が必要となる。

事前 エントリー	同意書 【様式2】	受験票 【様式3】	健康状況申告 書 【様式4】	学生証(写)	パスポート コピー	成績評価係数計算 シート 【様式6】	成績通知書 (前年度成績分) または 成績証明書等

同意書

東京都立大学 学長 殿

私は、以下の事項A～Cについて内容を十分に理解し、同意した上で2024年度夏期海外短期研修に応募いたします。

____年 ____月 ____日

学修番号 _____ 学生署名 _____

保証人は、本同意書内の記載事項に同意し、また学生本人が同意事項を遵守することを保証いたします。

保証人署名 _____ (学生との関係: _____)

<事項 A: 参加申込書提出前に特に留意すべきこと>

1. 参加申込者及び保証人は、共に募集要項を熟読し理解した上で参加申込を行うこと。
2. 参加学生の決定は、本学が定める方法により本学が行う。
3. 応募者は、海外短期研修に係る費用について十分理解し、保証人等の経済的負担者の了解を事前に得た上で参加申込を行うこと。また、費用は定められた期日までに支払うこと。
4. 応募者は、参加学生に決定後は原則として辞退出来ない。現地派遣研修がオンライン研修に切り替えとなった場合も同様とする。
5. 参加学生としての責務を怠った、または参加学生として適当でないと学長が認めた場合、経済支援金の支給を取り消す場合がある。この場合、既に支払った旅費等については払い戻し不可となることがある。
6. 参加学生は、本学の研修運営、広報等の情報共有のため、研修中の学修や生活情報を本学へ提供し、報告書、報告会及びホームページ等に於いて自身の体験を伝える等の協力をする事。
7. 本学は、研修先での成績や語学試験の成績情報等を、研修先や試験実施機関から取得する。
8. 現地派遣研修の場合、研修に係る研修参加費用の徴収、その他事務手続きを本学が指定する旅行代理店（以下、代理店という）が行う場合がある。
9. 現地派遣研修の場合、本学は、研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内で研修先や代理店等へ個人情報を提供する場合がある。
10. 現地派遣研修の場合、新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航であることを理解し、感染症対策を怠らず参加する意志をもって、また以下についても了承の上申し込みをすること。
11. 渡航の1か月前の時点において渡航先の感染症危険レベルが2以上となった場合には、速やかに「誓約書」(【様式4】)記載の全項目について熟読、確認し、本人及び保証人が同意、署名の上、提出すること。
12. 派遣決定から研修修了までの各時点において、渡航先国または日本の方針により必要となる手続き等については各自で行うこと(費用本人負担)。またその手続きや必要書類提出の遅れ、未提出等により発生するキャンセル料等についても自己負担となる。

<事項 B: 参加決定後からプログラム開始までに特に留意すべきこと>

1. 海外短期研修参加にあたり、出席が義務付けられているオリエンテーションや説明会等には、全て出席すること。また、英語研修に参加する学生は、研修前後に、本学が指定する語学試験を受験すること。欠席は、原則として正規授業への出席の場合以外認めない。無届の遅刻や欠席があった場合は、経済支援を支給しない場合がある。
2. 研修参加に必要な諸手続き(研修先に提出する各種書類の作成、参加費用の支払等)は、自らの責任に於いて行うこと。
3. 提出が必要な書類の提出期限を厳守すること。提出方法についてはオリエンテーションまたはメール等にて国際センター、国際課より通知する。
4. 参加費用の支払期限を厳守すること。支払方法(振込、海外送金、クレジットカード決済など)については、オリエンテーションでの案内に沿って支払を行うこと。
5. やむを得ない事由により、プログラムへの途中参加や参加のキャンセル等が発生した場合であっても、原則払い戻しは不可となる。

<事項 C: プログラム開始後に特に留意すべきこと>

1. 現地派遣プログラムについては新型コロナウイルス感染症の影響等により、事前または研修中であっても中止(途中帰国)を決定する場合があります。時期により既に支払が発生している費用については払い戻しができない場合があります。これらの事態が生じる可能性があることを理解した上で応募し、万一の際は大学の決定及び指示に従うこと。
2. 本研修は長期休業中の日程となるため、次学期の授業開始日及びガイダンス等の日程を確認しておくこと。新型コロナウイルスの水際対策による隔離等が発生する可能性を考慮し、欠席せざるを得ない場合があることを理解すること。

3. 研修中は、本学の学生として責任ある行動をし、研修先での学業に精力的に取り組むこと。
4. 研修終了後は速やかに海外短期研修報告書とアンケート課題を提出すること。またフィードバックミーティングに出席すること。課題の提出を期限までに行わない、また無届の遅刻や欠席があった場合は、経済支援金を支給しない場合がある。

上下両方の表の太枠内を、ボールペン又は耐水性ペンを使用して記載し提出すること。

2024年度夏期海外短期研修参加候補者選考受験票			
受験番号 (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次
	学修番号		氏名
<p>【注意】</p> <p>参加学生の発表は受験番号にて行うため、本受験票は大切に保管すること。 また、英語研修の参加学生として決定した学生については、研修前後の英語能力測定試験においても本受験番号を使用するため、決定後も受験番号がわかるようにしておくこと。</p>			

印

国際課控

2024年度夏期海外短期研修参加候補者選考受験票			
受験番号 (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次
	学修番号		氏名

東京都立大学学長 殿

新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航に関する誓約書

私は、海外渡航するにあたり、渡航先国・地域では自分自身で安全を確保しなければならないことを理解し、自覚と責任を持って、安全と健康に十分な注意を払うとともに、下記の事項を承諾・厳守することを誓約します。

記

✓欄

1. 渡航先国・地域が新型コロナウイルス感染症の影響により外務省による感染症危険情報レベル2（不要不急の渡航取り止め）又はレベル3（渡航中止勧告）であることを確認し、自らの判断と責任で渡航します。
2. 渡航中における新型コロナウイルスへの感染については、自らの責任として対処します。
3. 渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険に加入しています。
（保険会社名： _____ 証書番号： _____）
4. 危機管理サービスに加入しています。
（危機管理会社名： _____ サービス名： _____）
5. 渡航先国・地域の政府からの指示や在外公館からの通知に注意を払い、現地の法令を遵守するとともに、責任のある行動をとります。
6. 渡航先国・地域の治安や感染症の状況により、東京都立大学が帰国勧告等を決定する場合があることを理解し、その場合は速やかに指示に従います。
7. 渡航先国・地域が、感染症危険情報レベル4となった場合、東京都立大学の指示に従い速やかに帰国します。
8. 裏面「新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目」を確認し、内容について理解しました。

年 月 日

所属： _____

学修番号： _____

学生の署名・印 _____

上記誓約書に記載されている事項及び学生の海外渡航に同意し、学生本人が誓約事項を遵守することを保証します。

年 月 日

保証人続柄： _____ 保証人の署名・印 _____

上記のとおり、確認し渡航を認める。

学部長、研究科長記名・印

新型コロナウイルス感染症の影響により感染症危険情報レベル2以上に 指定された国・地域への渡航前に確認すべき項目

- (1) 渡航先国・地域における最新の感染状況を把握している。
- (2) 原則として、新型コロナウイルスのワクチン接種を完了し、出発前までに十分な免疫ができる期間を設けている。
- (3) 渡航先国・地域への渡航手段がある。
- (4) 渡航先国・地域に入国の可否及び入国に必要な手続について申請中であるか又は申請が完了している。
- (5) 渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる海外旅行保険又は現地の保険に加入している。
- (6) 渡航先国・地域への入国時における水際措置及び入国後取るべき行動について把握している。
- (7) 渡航先国・地域で感染の疑いが生じた場合、濃厚接触者として指定された場合及び感染した場合に渡航先国・地域において取るべき行動及び相談先を具体的に把握している。
例：
 - ・ 相談できる機関
 - ・ 検査できる機関
 - ・ 受け入れ可能な医療機関
 - ・ 滞在先
- (8) 渡航先国・地域で必要な生活物資が確保できる。
- (9) (留学の場合) 受入先大学等において留学生の受け入れ体制が取られている。
- (10) (留学の場合) 受入先大学等において十分な防疫措置がとられている。
- (11) 渡航先国・地域における新型コロナウイルス感染拡大抑止のための法令（マスクの着用等）を把握している。
- (12) 今後、渡航先国・地域において感染拡大した際取るべき対応をシミュレーションしている。
- (13) 海外渡航を学生本人が望んでおり、保証人もそれに同意している。
- (14) 渡航先において重大事案に遭遇した際に、渡航先国・地域への入国時の水際措置等により、日本からの迅速な救援活動が行えない可能性があることを理解している。
- (15) 中止や延期に際した緊急帰国時や入国時の水際措置による費用等、新型コロナウイルス感染症の影響に際して発生する費用については学生自身の負担となることを理解している。
- (16) 感染症危険情報レベル2又はレベル3での渡航における特別措置は、新型コロナウイルス感染症の影響に限定した取扱いであることを理解している。